

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	10. 図書館機器等整備事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	4. 図書館費	担当所属	社会教育課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	0	実施計画	第4章	豊かな心を育み 笑顔あふれるまち (教育)	175,186
							基本施策3	生涯学習	令和3年度 5,334
									令和4年度 10,134
									令和5年度 79,859
							施策2	生涯学習の環境を整備します	令和6年度 79,859
								令和7年度 0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		10,134

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									10,134

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 図書館システム機器等賃貸借、RFID関連機器等保守業務委託、RFIDタグ購入を行います。</p>	<p>(事業の目的) 新図書館システムにつきましては、現行機能の維持に加え、図書館基幹業務が円滑に行えることを基本とします。また、利用者サービス向上・利用者の増加を図るため、WEBによる操作性の向上、併せて、予約本受取棚を整備することで、カウンター業務全般に対する業務量を削減します。</p> <p>RFID関連機器等保守業務委託につきましては、RFID関連機器が適切に稼働するように保守委託業務を行うものです。</p>	<p>(事業の効果) 新図書館システムの導入につきましては、公募型プロポーザルにより機能、運用、価格等を総合的に判断し、現行機能を維持しつつ、より使いやすいシステムを導入することは、円滑な業務の遂行と社会情勢に即した市民サービスの向上を図ることができます。</p> <p>RFID関連機器等を適切に保守することで、自動貸出機などのRFID関連機器を不具合なく利用することができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 令和3年度からRFIDタグを貼付し、自動貸出機などの運用を開始しました。郷土資料、絵本、雑誌は、全面が写真や絵で構成されています。それらに、白色のRFIDタグを貼付すると写真や絵の一部が隠れてしまい、隠れた箇所を閲覧するために、無理やりRFIDタグを剥がされた事例がありました。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 令和3年度は、白色のRFIDタグのみを購入しましたが、令和4年度は、白色のRFIDタグに加えて、利用者が閲覧しやすいように郷土資料、絵本、雑誌には、透明のRFIDタグを貼付し、利用者の利便性向上を図ります。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
10	891	825	66
12	2,904	0	2,904
13	6,339	0	6,339

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	10,134	0